

## は じ め に

小学校・中学校に引き続き、来年度から高等学校においても新しい学習指導要領による教育課程が実施されようとしています。

これからの学校教育では、自ら学ぶ意欲と社会の変化に主体的に対応できる資質や能力の育成が重視されています。そのために、個性や創造性を発揮しつつ自己実現を図る資質や能力を育成する教育を推し進める必要があります。

平成3年3月に県教育委員会は、「いきいき新潟教育プラン—新潟県第六次総合教育計画—」を策定し、教育施策の計画的推進を図ってきました。その中の柱として「いきいき学べる学校教育の充実」がありますが、この中で「学力の向上を図り、個性を生かす教育の推進」をターゲットの一つとして位置付け、小・中・高の一貫した取り組みを求めています。

学力の向上に対する県民の期待は、県政調査（平成元年）でも明らかです。

この課題を受け当教育センターでは、学力の向上と学習指導の改善・工夫を求め、平成4年度から4カ年計画でプロジェクト1研究を開始いたしました。

本年度の研究はその第2年次に当たり、新しい学力観に立つ学力調査を行うために調査問題試案を作成し、予備調査を実施しました。

この度、調査問題とその問題に基づく予備調査の結果がまとまり、報告書として刊行する運びとなりました。

本プロジェクト研究の最終的な目標は、新しい学力観に立つ学習指導の改善であります。

この事業は、各学校における学習指導改善への議論の高まりを期待すると共に、学習指導改善への一助として、機能することを願うものであります。

各学校においては、児童生徒の学力の充実・向上のために本調査報告書をご活用いただき、新しい学習指導要領の趣旨を生かした指導の改善、工夫に役立てていただければ誠に幸いに存じます。

最後になりましたが、本調査研究を進めるに当たって御指導賜りました国立教育研究所の長崎栄三先生、新潟大学教育学部の先生方、また、御支援と御協力いただきました学校、関係機関の各位に心よりお礼申し上げます、御挨拶といたします。

平成6年3月

新潟県立教育センター

所 長 北 村 市 郎